



当社の主力事業である化成品事業で  
取り扱う幅広い種類の化学製品

○本社所在地：富山県高岡市宮田町9番  
16号

○事業概要：化成品事業（主力事業）、  
計器機械事業、精密機械加工事業

○常時使用する従業員：81名（内訳：正  
社員76名、パート5名）（2024年8月期）

○現在の売上高：42億円（2024年8月期）

○法人番号：1230001010288

○Web：<https://www.dib.co.jp/>

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長  
多田 勢津子

## ともに生き、ともに創る

化成品を中心とする商社機能と、計器機械製造、精密機械加工を中心とするエンジニアリング機能をあわせ持つ特長を活かし、お客さまに寄り添いながら課題を解決していく企業、「ともに生き、ともに創る企業」でありたい。それが、私たち第一物産の基本姿勢です。100億企業への成長の過程において、社員一人ひとりが豊かな想像力と強い意志、向上心をもって行動することで、地域の皆さまを支える力となり、持続可能な社会にも貢献できる企業になると確信しています。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

既存主力事業である化成品事業（卸売部門）を安定的に成長させるとともに、高付加価値の計器機械事業及び精密機械加工事業（製造部門）を拡大させることで、2032年8月期において売上高100億円達成を目指す。

### 課題

- 卸売部門の営業人員は、製造部門の自社リソース(技術、課題解決力)を踏まえた適切な提案をしきれておらず、機会損失を生じさせてしまっている。
- 現在の本社事務所、工場は増築を繰り返した影響で、各建屋が小規模に分散するなど非効率な配置となっており、生産性向上の妨げとなっている。

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- 少子化・人口減少の影響により閉校となった小学校の跡地を有効活用し、本社・工場・倉庫機能を統合した中核拠点を整備する。
- 高付加価値の製造事業（液体自動充填装置、スマホ等向けMLCCや全固体電池向け治具）の拡大に注力。単なる商材の卸売から、設計・製造機能を統合したソリューション提供を可能とし、顧客企業の課題を解決し、競争力向上に貢献する。

### 実施体制

- 部門横断的に若手人材で構成する「ソリューション室」を設置し、顧客情報や技術、ノウハウの共有・蓄積を促進し、全社一丸となって顧客の課題解決力を向上させ、顧客への提案・訪問機会(数)と見積り依頼(率)の改善・向上を図る。
- 各部門長と社長直轄ソリューション室間での情報共有会議を月次で開催。KPIの定量的な分析の他、懸案事項を適時に共有し、部門間でモニタリングできる体制とする。

売上高100億円実現目標と課題及び具体的措置

既存主力事業である化成品事業（卸売部門）を安定的に成長させるとともに、高付加価値の計器機械事業及び精密機械加工事業（製造部門）を拡大させることで2032年8月期において売上高100億円達成を目指す。

【現在抱えている課題】

- 現在の本社事務所、工場は増築を繰り返した影響で、各建屋が小規模に分散するなど非効率な配置となっており、生産性向上の妨げとなっている。

【課題解決・労働生産性向上】

- 少子化・人口減少の影響により閉校となった小学校の跡地を有効活用する形で本社・工場・倉庫機能を統合した中核拠点を整備する。製造工場は1棟1フロアに集約し、設備の最適配置、導線効率の最適化を実現することにより労働生産性を高める。また、倉庫を本社スペース内に集約（現在は本社敷地含めた3か所に点在）し、物流業務の効率化を図る。さらに事務所スペース含めた各部門を1棟に集約することで部門間の協働促進・情報共有を図り全社一丸での売上向上を目指す。

【地域への貢献】

- 閉校跡地の一部は産業観光施設（秤の歴史や仕組みを子供も学べる施設を想定）、イベント広場、地域メモリアル施設として一般開放。また体育館は災害時の近隣住民の避難所として活用し、本社スペースを「地域共創空間」として整備する。また地元行政と連携して子供向けの出前講座等を予定しており、企業イメージの向上と長期的な地元の若者の雇用拡大を図る。

